

八清親和会 自治会役員の一とり言

平成30年3月20日

No7

八清親和会 副会長

吉田祐治

3月16日(金)の、昭島市立昭和中学校の第71回卒業式に昭島市自治会連合会第3ブロックを代表(八清親和会)して、また昭和中学校学校評議員(地域)として出席してきました。今年、139名の生徒が卒業していきました。また、昭和中学校としても開校70周年を迎え、記念すべき年でもありました。11月には、記念式典がKOTORIホールで来賓、地域関係者、学校関係者、父兄を招き、全校生徒とともに盛大に執り行われました。

昭和中学校は、八清地域とも密接に関係があり、歴史的に見ましても共に歩んできたと言っても過言ではありません。昭和中学校と江戸街道を挟んで斜めに隣接する八清地域の住宅街(旧八清住宅街)は、昭和16年に桑畑が広がる農村地帯に建設(完成)され、街の中心にロータリーを配し住宅街が放射状に広がっていました。

当時830戸とも言われる賃貸住宅のほか、多くの工員寮があり、市場や銭湯、映画館、郵便局、警察署などがあり、今でいう「一大ニュータウン」の出現でした。

そして、昭和22年に、一時駐留軍の寄宿舍であった敷地内に「昭和中学校」が開校しました。また、その2年後に八清住宅街に今の自治会「八清親和会」ができ地域活動を通じ昭和中学校と共に歩んできました。

{昭和22年ごろ}

{昭和34年}

{現在}



私もその昭和中学校にお世話になった一人で、昭和34年(1959年)に卒業した。

卒業式に出席して在籍時の当時を思い起こすのは、現在の昭島市が生まれる前の昭和町、拝島村には、昭和中学校と拝島中学校の2校しかなかったため、昭和中学校の通学区域は、東は西立川駅、西は昭島駅、南は多摩川の土手迄の、広大な区域であったこと、また1学年が1組~13組迄あり、1学年の生徒数は、700人ほどでした。

昭和中学校全体では、1学年~3学年で39組、生徒数は何と2,100人程だったと、記憶しています。

このため何をやるにしてもけた違いに大きく、特に印象に残っているのは、運動会で3年生男子全員の騎馬戦で、90騎の騎馬が紅白に分かれ運動場いっぱい展開して、紅白の帽子を取り合う競技は、迫力があり荒っぽさもあり、まさに男と男の激突でした。

また、3年生の修学旅行「京都奈良」は、現地で13台の観光バスを連ねて移動する光景はまさに圧巻でした。

そして、卒業式に出席し、現在に戻ると、生徒数全校で393名、当時の1/5、即ち、今は市内に多くの中学校ができ、今の生徒は、授業内容や、施設環境等、60年前の私たちとは、比較にならないほどの環境に恵まれた学校生活を送ることができ、うらやましい限りです。

これからも、地域も中学校と防災などでお世話になります。もっともっと密接に協力していきたいと思えます。

昭和中学校卒業生、卒業おめでとう！ 昭和中学校開校70周年おめでとう！

以上、ある役員の一とり言です。

以上